

近視進行抑制治療

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%（参天製薬） 選定療養

子供の近視進行

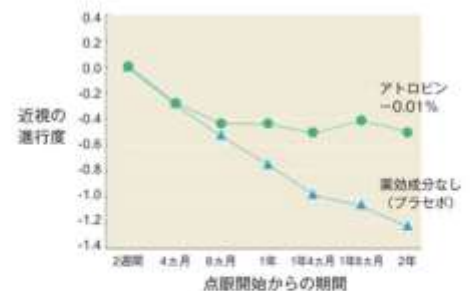
近年、小児の近視進行は重大な健康問題として世界的に広く認識されています。近視は遠くの物がぼやけて見える状態で、その進行には遺伝的要因と環境要因が関与するとされています。特に、昨今の屋外活動の減少やデジタルデバイス等による近距離作業の増加が進行を促していると考えられています。文部科学省が実施した学校保健統計調査で、裸眼視力 1.0 未満の者の割合は年々増加しており、2024 年度調査では小学校で 36.8%、中学校で 60.6%、高等学校で 71.1%という結果が示されています

近視の進行は視力低下だけでなく、将来的に緑内障、網膜剥離、黄斑変性などの発病リスクを高める可能性があり、これらの疾患は視力喪失や失明につながる可能性があるため、早期の予防と管理が重要です。



リジュセア®ミニ点眼液 0.025%（参天製薬）
（低濃度アトロピン）とは

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%は参天製薬より発売されており、近視の進行抑制を効能・効果として承認された日本初の治療薬です。この薬剤は通常のアトロピンよりも低濃度（0.01～0.025%）であり、副作用が少ないため、長期間の使用が可能です。多くの研究において、低濃度アトロピンが近視の進行を約 30～60%程度抑制することが示されています。このため、近視の進行を防ぐための有効な手段として注目されています。



●アトロピン0.01%：2年に渡る近視進行度 → 平均 -0.49D
●薬効成分なし (プラセボ)：2年に渡る近視進行度 → 平均 -1.20D

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%の特徴

- 1回1滴 ,1日1回就寝前に点眼する。
- 重篤な副作用の報告はありません。
- 日中の光のまぶしさに影響を及ぼさないため、サングラスもほぼ不要です。
- 目の遠近調整機能（手元を見る作業）にほとんど影響を与えません。
- **リジュセア®ミニ点眼液 0.025% x 30本 = 4,380円**

治療の対象となる方

- 軽度～中等度の近視の方
- 5歳～15歳の学童の方
- 3ヶ月に1回の定期通院が可能な方

診療の流れ

● 初診

初診時検査、診察

検査を行い近視の有無、治療適応について診察を行います。必要に応じて、調節麻痺薬での屈折検査や眼鏡処方なども行います。

● 開始時

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%処方

点眼薬の説明ならびに同意確認の上、リジュセア®ミニ点眼液 1ヶ月分（30本）処方します。

● 1ヶ月後

検査、診察

検査および診察にて継続可能か判断し、問題が無ければ2ヶ月分の点眼薬を処方します。

● 2ヶ月後

検査、診察

2ヶ月後の検査および診察にて問題がなければ、以降は3ヶ月毎の定期検査となります。

● 3ヶ月毎 定期診察

検査、診察

3ヶ月毎の定期検査および診察を行います。

おおさと眼科クリニック 院長 大里正彦